

◇ 地方会の記録

第16回 近畿集中治療医学研究会

期 日 昭和61年5月31日(土) 午後1時00分～5時30分

場 所 奈良県橿原文化会館

会 長 奈良県立医科大学集中治療部 畔 政 和

(〒634 橿原市四條町840 TEL 07442-2-3051)

一般演題Ⅰ 座長 兵庫医科大学集中治療部 津田 三郎

1. 低位気管切開のため呼吸管理に難渋した一症例

奈良県立医科大学麻酔科 宮田 嘉久・平井 勝治・畔 政 和
古 家 仁・北口 勝康・丸 中 州
山岸 夏樹・安田 慎治・奥田 孝雄
同 耳鼻咽喉科 山本 史朗

2. 食道切除後の横隔神経麻痺の疑われる一例

関西医科大学麻酔科 美馬 正彦・久野 一典・内田 盛夫
同 外科 広実 伸郎・西 正 晴・日置紘士郎

3. 長期吸入麻酔薬使用により救命しえた重症重積喘息発作の一症例

奈良県救命救急センター 植田 康夫・藤村 昌史・青山 信房
土井 康司
奈良県立奈良病院麻酔科 開 信 郎

4. 成人発症型気管支喘息重症発作17症例に対する20回の人工呼吸の経験

大阪府立羽曳野病院集中治療科 岩瀬 俊郎・河 野 修・木村 孝文
小幡 泰憲・荒木 良彦・花本 澄夫
高 光 重・川幡 誠一・木村謙太郎

5. 3回の入退室を繰り返した白血病患者の呼吸管理について

大阪大学医学部附属病院集中治療部 山本 弘志・福 井 聖・日 月 裕
岡田 俊樹・武 澤 純・妙中 信之
吉矢 生人

6. weaning に難渋していた DORV 患者に対して高い PEEP をかけ weaning に成功した一症例

京都府立医科大学麻酔学教室 堀 義 幸・須貝 順子・宮崎 正夫
同 小児疾患研究施設ICU 斉藤 朗子・李 光 喜

7. 急性心筋梗塞症における AaDO₂ の検討

関西医科大学第二内科 高山 康夫・岩坂 壽二・斧山 英毅
杉浦 哲朗・辻 久 子・木 村 稔
松谷 正秀・稲田 満夫

特別講演Ⅰ 座長 奈良県立医科大学集中治療部 畔 政 和

“閉塞性脳血管障害の診断と治療”

国立循環器病センター脳血管内科部門 栗山 良紘

特別講演Ⅱ 座長 奈良県立医科大学集中治療部 畔 政 和

“A-C bypass 手術と冠動脈スパズム”

奈良県立医科大学第三外科 北村惣一郎

一般演題Ⅱ 座長 奈良県立医科大学集中治療部 田中純江婦長

8. 集中治療部における清拭時、面会前後の落下細菌の現状とその対策

奈良県立医科大学附属病院集中治療部 田村 明子・堀口 陽子・岩本 浩子
近藤さつき・田中 純江・畔 政和
同 第三外科 北村惣一郎

9. 食道癌根治術後に口渇を強く訴えた患者の看護

国立京都病院救命救急センター 村田 佳子・是沢 珠美・後藤 淑子
同 麻酔科 石見 大輔・柴田 正俊・小林 敏信
石井 奏
同 外科 完岡 市雄・小泉 欣也

一般演題Ⅲ 座長 国立循環器病センター集中治療部 公文 啓二

10. 胎生期より診断された EMG 症候群の管理経験

大阪府立母子保健総合医療センター麻酔科 内田 貴久・八木 正晴・青木 基彰
岡 憲史
同 小児外科 中井 澄雄・窪田 昭男
同 産科 光田 信明

11. 小児ICU開設5年間の症例の検討

大阪市立小児保健センター集中治療室麻酔科 北村 征治・佐々木繁太・川原 玲子
高橋 英夫・入江 紀夫

12. 解離性大動脈瘤（DBⅢ-b）術後に一過性に“心室瘤”様の像を呈した1症例

国立循環器病センターICU 平田 隆彦・公文 啓二・玉木 修治
渡辺 治・夜久 均・南淵 明宏
田中 一彦
同 心臓血管外科 加瀬川 均・中島 伸之

13. Indometacin による（疑）Shock 後神経学的所見を見誤った症例

兵庫医科大学ICU 津田 三郎・宮井 潤仁・尾崎 孝平
安本 良子・丸川征四郎

14. 劇症肝炎に対する持続的血液濾過法（CAVH）の使用経験

城北市民病院集中治療部 国頭 悟・平山 謙・竹村 俊彦
沢田 鉄二・横松 秀明・嶋岡 英輝
鍛冶 有登・河崎 収・佐谷 誠
西村 清司

15. 開心術後の多臓器不全に対し血漿交換を施行し救命し得た一症例

国立循環器病センターICU 夜久 均・公文 啓二・平田 隆彦
同 心臓外科 川副 浩平・桑原 正知・藤田 毅

16. 開心術後の難治性腎不全に対してフロセミド持続注入が有効であった3例

奈良県立医科大学第三外科 小林 修一・大山 朝賢・河内 寛治
飯岡 壮吾・森田 隆一・金 炯 澤
関 寿夫・根津 邦基・北村惣一郎
同 集中治療部 畔 政和・北口 勝康・下村 俊行